



あさのがわ通信



学校運営協議会を行いました

今年度も学校運営協議会を行いました。この協議会は、地域住民、保護者、校区小学校の校長先生、本校の校長及び教職員で構成され、学校運営とそれに必要な支援について協議するものです。(6/20、12/5、2/20)

協議会委員による授業参観(第3回は協議のみ)のあと、本校の現状と学校経営方針、学校評価の結果報告と今後の方針等について説明し、協議を行いました。第1回は、令和6年度の学校運営方針を説明し、第2回は、取組の進捗状況を報告しました。

第3回は、12月に回答いただいた保護者アンケート等の結果をもとに、次年度に向けた改善策について提案し、協議会委員の皆様からご意見をいただきました。

○説明内容

- ・学校評価報告書について(金沢型学校教育モデル、生徒指導、研修[資質向上の取組]、教員の業務適正化)
- ・保健指導について
- ・キャリア教育について
- ・校舎等の安全管理について

- ◆保健指導について、手を変え品を変え、生徒とともに啓発活動をしているのは、素晴らしいと思う。
- ◆月2回の生活アンケートは、いじめの実態把握や早期発見に有効だと思う。このアンケートでいじめを発見したとき、どんな対応をすることになっているのか。
- ・当人たちは、「ふざけている」つもりでも、周りからは「たたきあっている」ように見えることもある。双方に事実確認してから指導し、場合によっては全職員で見守る。
- ◆「なんでプレート」によって、生徒は授業に主体的に取り組める。授業以外でもそうになっていこう。大浦小でも同様の取組をやっていると聞いている。トラブル等があった場合、「なんで」と聞いていくことで、(いじめを)防げるかもしれない。人格形成にも凄くいいと思う。
- ◆「根拠を問う発問」など、小学校と中学校が連携して取り組むことは、子どもにとっても保護者にとってもいいことだと思う。
- ◆時間外勤務時間を減らす取組として、定時退校日を設けるのはいい試みだろう。業務のスリム化を図ることで、先生方の心身の健康にもつながるだろう。
- ◆金沢型学校教育モデルで、1人1台学習端末の機能を「効果的に活用できている」と回答した先生は73.5%ということだが、今後も先生方は、さらに効果的な活用をめざすということか。
- ・教員には、さらに端末の活用が進むように、校内で行うGIGAスクール活用研修などで、継続的に利用をサポートしていく。
- ◆中学校に来ると、生徒があいさつしてくれて、気持ちがいい。不登校生は全国的には増えているのに、浅中はあまり増えていない。その理由はなんだと思うか。
- ・行事を終えると、翌日には写真をふんだんに取り入れた掲示物を張り出し、生徒が頑張っている姿をあとで見られるようにしていること、生徒指導通信に、「誰かのステキな行動」について生徒が書いたことを積極的に掲載していることも、よい影響を与えているのかもしれない。今後もこれらの取り組みを進めていく。あいさつについては、不十分な生徒がいるため、A評価に甘えずにこれからもやっていく。
- ◆来年度からデジタル科が始まるそうだが、やはり外部講師を呼んで行うのか。
- ・デジタル科は、外部からゲストティーチャーを招くこともあるが、外部に見学や体験に行くこともある。デジタルシチズンシップについての学習活動など、一部の教科の授業時間を削減して、年間18時間実施することになっている。